

令和6年 産炭地域振興・エネルギー調査特別委員会 開催状況
(経済部資源エネルギー局資源エネルギー課)

開催年月日 令和6年11月25日

質問者 民主・道民連合 高橋 亨 委員

答 弁 者 資源エネルギー局長

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>1 最終処分法に基づく文献調査報告書の受理及び今後の対応について (高橋委員)</p> <p>今ほどですね、今後の対応についてお聞きをいたしましたけれども、ご存じのとおり、この文献調査、2年間というふうにやっていたのですが、それが3年になって、そして4年になって、この秋にですね報告書を出すと言っていたのですが、もう冬になってしまっ。それで、これいつその報告書が出てくるのかというふうに、道の方に聞いても的を得ない。直接、NUMOから聞いた年内に出すという話がありました。だから、年内、12月だと思っていたのですが、11月に出てきた、そういう状況でありますけれども、いずれにしても時間がどんどん、どんどん掛かっているということでございます。</p> <p>それで、今後のスケジュールを考えていきますと、これ縦覧をしていく、パブコメをやっていくということになっていけばですね、この第4回定例会の中で、様々な疑問点や、さらには道の考えを聞くとしても、その道民の皆様様々な意見を聞く前ということには、中々難しさは出てくる訳ですから、そうなるべくと3月5日以降ということになりますね。それで、年明けの第1回定例会でも、それはですね中々時間的には難しさは出てくる。そうなるべくとですね、これは手続き上の問題も含めて、様々な道民の意見を吸い上げて、それをですねNUMOが道の方に提出をして、道の方はそれらも含めて、知事がそのことについてどう判断するかという一つの材料にしながら、そして、当然のことながら経産省に対して、意見具申をしていく。経産省はそれを以て今度は道や寿都、神恵内の首長さんにですね、意向を聞くという、こういう流れになっていく訳なのですけれども、一体、いつがこの流れがどういうふうになっていくのかというのが、さっぱり見えてこないですね。先ほど言ったように、今の第4回定例会はもう無いということになってくる。第1回定例会も時間的には間に合わない。そうすると来年の第2回定例会が一定の山場の日程になってくる。そこが本来山場になってくるのかという。知事の経産省に対する答えが、正式な。その流れがですね、中々私たちに見えてこない。</p> <p>ですから、そのスケジュール感がですね、道の方はどういうふうには押さえているのか、それをお聞きしたいと思います。</p> <p>(高橋委員)</p> <p>今のお話ですと、道としても全くわからない。これは、そもそもこれから行われるであろうNUMOと地元との色々な話し合いの場の問題も含めてそうですし、経産省とNUMOとの関係もそうでしょうし、道との関係もそうでしょうけれども、ある意味、道は当事者の一角を占めているわけですから、そこのところは全く先が見えない、わからないということではですね、少しこれはいかがなものかという気がいたします。</p> <p>ですから、そこところは重く受け止めていただいて、真剣にですねスケジュール感をきちっと持ってですね、そ</p>	<p>(資源エネルギー局長)</p> <p>最終処分事業についてでございますが、今後、法律に基づきまして、NUMOは、縦覧や説明会の開催、意見募集等を行った後に、概要調査地区を選定しようとするときは、国に対し、実施計画の変更を申請するということになってございます。</p> <p>その後、経産大臣から知事等への意見照会が行われることとなりますけれども、具体的なスケジュールについては、承知してございません。</p> <p>道といたしましては、今後とも、国やNUMOの動向を注視してまいります。</p>

して、議会や道民の皆さんに言っていただいて、この位の

質 問 要 旨

答 弁 要 旨

時にはこういうことがある、この位の時にはこういうことがあるのだということですね、そういう情報は早めに入手して、できる限り早く明らかにしていくということが必要だというふうに思いますので、そのことを要望しておきたいと思います。